

展示の検討にあたって -前提条件の確認①

○「基本理念」の確認（『松本市基幹博物館基本計画（平成21年3月）』より抜粋）

【2.基本理念】

本市でも、社会の成熟化とともに生涯学習ニーズは高まっており、市民による地域学習・研究活動が行われています。それらの活動を深めることは、松本の〈人〉〈歴史・文化〉〈自然〉を切り口とした「**松本学**」の探求にほかなりません。（中略）

松本の明日を考える上で、このように**松本学**の探求を通じて郷土を知り、考え、つくり出していく人材を育むことは何よりも大切です。（中略）
次の時代を先取りする松本オリジナルの地域博物館として、「ひとづくり」「まちづくり」をめざす博物館を建設します。

⇒ 「松本市基幹博物館」は 「松本学の（探求の）拠点」 × 「ひとづくり・まちづくりをめざす地域博物館」

●「松本学」とは？

松本市域で培われた〈人〉〈歴史・文化〉〈自然〉の切り口で、地域社会の移り変わりや人の生き方を総合的に学び、松本の未来を創造する学をいいます。明日の郷土松本を担うひとづくりと市民が暮らしやすいまちづくりを目指して博物館を拠点に協働で学習します。

⇒ **松本市域で培われた〈人〉〈歴史・文化〉〈自然〉を総合的に学び、松本の未来を創造する**

「地域学」

「地域学」とは、特定地域の総合的・学際的研究としてのエリア・スタディといわれる純学問的なもの（地域科学）とは異なり、主に生涯学習の分野で実践されています。つまり、ここでいう「地域学」とは、地域の自然、人、事象などの学びを通して、個々人が郷土観を確立し、ひいては地域活性化や地域づくりへの動機づけを図っていかうとするものです。

また、「生涯学習としての地域学」はその地域の住民を主要な担い手として、行政（企画担当部門から教育委員会まで幅広い行政部門）、大学等高等教育機関、NPOなどの市民団体から趣味のグループまで、多様な実施主体によって企画・展開されるなど、多様かつ多彩な“学び”の活動であるといえます。

「（公財）山形県生涯学習センターホームページ」参照

展示の検討にあたって -前提条件の確認②

○ 展示事業（『松本市基幹博物館基本計画（平成21年3月）』より要約抜粋）

	常設展示	企画展示・特別展示	市民ギャラリー展示	移動博物館
コンセプト	<p>【ビクターセンター展示】 ・市内の観光資源を紹介し、観光客ニーズに応え、松本の風土の概要を示し、「松本まるごと博物館」へ誘う。</p> <p>【通史展示・民俗展示】 ・郷土松本の生い立ちや文化的特徴の形成など総合的な理解を促す。</p> <p>【通史展示】 ・実物資料を中心に[人][歴史・文化][自然]の視点を重視して展示を構成する。</p> <p>【民俗展示】 ・通史展示と連携し、松本の伝統的生活文化を示す視点を重視して展示を構成する。</p>	<p>【企画展示】 ・他館との共同展、巡回展、研究の成果発表展など</p> <p>【特別展示】 ・常設展示を深める展示、学芸員の調査・研究成果を公開する展示、館のコレクションや特に貴重な収蔵品等を特別公開する展示など</p> <p>・その他、市民からの提案に基づき市民主導の企画展示・特別展示も開催。</p>	<p>・市民団体などによる研究発表やワークショップの活動成果を展示公開するため市民ギャラリー展示を実施</p>	<p>・学校や博物館、公民館等を会場として小型展示会を実施。</p>
対象	<p>・小学校高学年程度が無理なく理解でき、楽しく郷土の歴史や文化に触れてもらえる内容。</p> <p>・子どもの学習効果に対してとくに配慮する。</p> <p>・UDの考え方にに基づき、障がい者を含めたすべての人が共に展示を観覧・体験できるように配慮する。</p>			
展示手法	<p>・実物資料を活用する実物展示中心。</p> <p>・映像、造形、環境再現などの新しい展示技術を効果的に採用。</p> <p>・音声解説、PDAなど、UDを実現する展示メディアの採用も検討。</p> <p>・ハンズオン展示を積極的に採用。</p> <p>・人を介しての解説、ガイドツアー等を積極的に展開。</p> <p>・市民参加型展示を採用。</p> <p>・展示室内でツアーやワークショップを開催できる可変的な展示空間。</p> <p>・無形文化は写真・映像等で記録し、展示活用と次代への継承に活かす。</p>	<p>（展示環境）</p> <p>・重要文化財や海外博物館所蔵資料などの貴重な資料の展示ができる、エアタイトケースなどの万全の展示環境を整備。</p> <p>・多様なテーマに対応し、自由な会場構成がとれるよう、フレキシブルな展示システムを採用。</p> <p>・大規模な巡回展を開催するに十分な面積を確保する。</p>	<p>・学芸員などと協働し、展示内容の企画から、デザイン、製作まですべての工程を市民自らの手で行う。</p> <p>・展示に必要な機材は館が整備し、市民の自由な利用に供する。</p> <p>・一般市民のグループのほか、学校の部活動などに出展を呼びかけ、活発な利用を促す。</p>	<p>・移動博物館用展示ケース、展示品セットを用意しておき、容易に移動・設営・撤収ができるようにする。</p>